

第40回健康・医療戦略推進会議 議事概要

日 時：令和7年8月27日（水）13時30分～14時30分

場 所：中央合同庁舎4号館全省庁共用1214特別会議室

参加者：

城内	健康・医療戦略担当大臣
辻	内閣府副大臣
友納	内閣府大臣政務官
井口	内閣官房内閣参事官
井上	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長
中溝	内閣官房国家サイバー統括室審議官
濱野	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長
井上	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官
前間	内閣府食品安全委員会事務局次長
森田	警察庁長官官房技術企画課長
園田	金融庁企画市場局市場業務監理官
鮎澤	消費者庁消費者政策課長
上仮屋	デジタル庁国民向けサービスグループ次長
中村	こども家庭庁成育局長
藤田	総務省大臣官房総括審議官（情報通信担当）
加藤	出入国在留管理庁審議官
柴田	外務省経済局総務課首席事務官
新城	外務省国際保健戦略官室首席事務官
細田	財務省大臣官房審議官
藤吉	文部科学省大臣官房サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官
坂下	文部科学省大臣官房審議官（研究振興局及び高等教育政策連携担当）
迫井	厚生労働省医務技監
佐々木	厚生労働省大臣官房危機管理・医務技術総括審議官
森	厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官
鷺見	厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部長
宮本	厚生労働省医薬局長
黒田	厚生労働省老健局長
青山	厚生労働省大臣官房総括審議官
尾室	農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課長
南	経済産業省商務・サービス審議官
小熊	国土交通省総合政策局政策課長
伯野	環境省環境保健部長
日下	防衛省大臣官房衛生監

（健康・医療戦略推進事務局）内山事務局長、仙波次長、江澤次長

概 要：

冒頭に、議長である城内健康・医療戦略担当大臣から、健康・医療分野の研究開発は、最終的にその成果を患者様にしっかり届ける必要があること、また、社会実装を見据えた上で進めることが不可欠であり、内閣府としては、引き続き、関係省庁としっかり連携しながら取り組んでまいりたい旨発言があった。

次に、議長代行である辻副大臣より、創薬や感染症対策などの医療分野の研究開発は、我が国の成長にとっても重要であること、また、国民の皆様の期待も高い分野のため、スピード感を持って医療分野の研究開発を進めていくことについて、引き続き、関係省庁のより一層の協力をいただきたい旨発言があった。

次に、副議長である友納政務官より、自身が医療従事者として勤務した経験を踏まえ、医療分野の研究開発は、最終的にはその成果が国民の皆様に資する必要があること、また、毎年必要な予算を確保し、着実に施策を推進する体制を構築していくために、引き続き、関係府省において連携して取り組んでいただきたい旨発言があった。

議題の中で、事務局から「感染症協議会の開催について」等の一部改正に係る説明があり、協議会構成員の変更が決定された。また、事務局から「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」の中間とりまとめを踏まえた工程表のフォローアップについて、説明があった。次に、関係各省から令和８年度医療分野研究開発関連予算の概算要求の内容について説明があった。

最後に、議長である城内大臣より、「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」の中間とりまとめを踏まえた工程表のフォローアップについて、各省庁における予算事業化が進む等、取組の着実な進捗が確認できたことや、令和８年度医療分野研究開発関連予算の概算要求について、第３期の「健康・医療戦略」や「骨太の方針」においても強調されたAMEDにおける出口志向の研究開発マネジメントの強化、創薬支援やドラッグ・ロスの解消に向けた施策等の取組について、各省庁でしっかりと予算要求がなされていることが確認できたこと、また、医療分野の研究開発の成果は、最終的に医薬品等の形となって国民の皆様にしっかりと還元されることが極めて重要であり、内閣府をはじめ、関係省庁と連携して、この健康・医療戦略をしっかりと構築して進めていきたい旨発言があった。

以 上